

JAMトピックス

J A M 第32回中央委員会

高卒直入者 30歳 26万円 35歳 30万5千円
到達基準
統一要求日 2月20日

全単組が要求日まで提出を

JAMは1月19日に東京・連合会館で開いた第32回中央委員会で、高卒直入者所定内賃金の到達基準を30歳26万、35歳30万5千円の個別賃金要求方式などを重視するとした「2018年春季生活闘争要求方針」を決めた。統一要求日は2月20日。統一回答指定日を3月13日・14日とする。

「賃金の底上げ・底支え」「格差是正」の取り組みを継続し、すべての単組が月例賃金の引き上げを中心とした「人への投資」を取り組みとし、賃金水準の引き上げを行う。

安河内賢弘会長は冒頭のあいさつで、「景気は回復基調にあり、為替も安定的に推移している。物価は1%程度上昇し、そして空前の人手不足。ベア春闘を闘う外的要因は整った。千載一遇のチャンス。運動を強化し、力強く前進していかなければならない。JAMの会長として、全単組が、統一要求日には要求書を提出するように強く要請する」と強調した。



全国35万の組合員のひとりでも多くのおみなさんが政策実現活動に参加、協力、行動してもらえようようにしていきたいと決意表明する田中ひさや氏



春闘勝利、田中ひさや必勝、価値を認めあう社会の実現へ向けて団結ガンバロー！

中央委員会では、第一号議案「JAM2018年春季生活闘争方針」など5本の議案がそれぞれ満場一致で確認された。

2号議案では、昨年7月の臨時中央委員会で確認した、国会におけるJAMの議席奪還をはかることを計画策定した「JAM政策実現活動推進計画VOL.1」の補強・修正として策定した「推進計画VOL.2」が提起された。

「田中ひさや」JAM組織内候補予定者の勝利に向けた活動を通称「ProjectQ」とした。

キャッチフレーズは「働くみんなの力になりたい。」

また、田中ひさや候補予定者の趣味がラジオ体操ということで、今中央委員会の休憩時には自らの声を録音した音源による「TANA体操第一」を参加者で行い、長時間の会議で固まったからだをほぐした。参加者は198人。